

経営比較分析表（令和2年度決算）

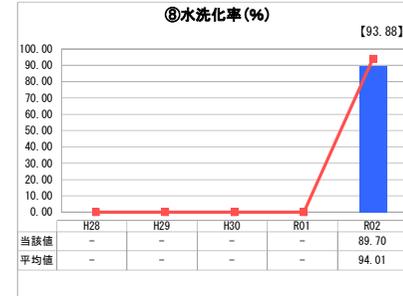
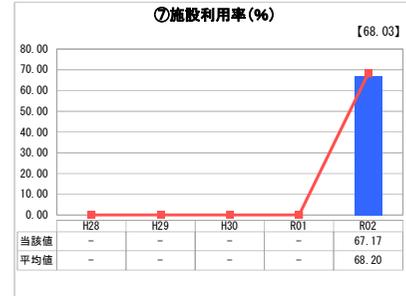
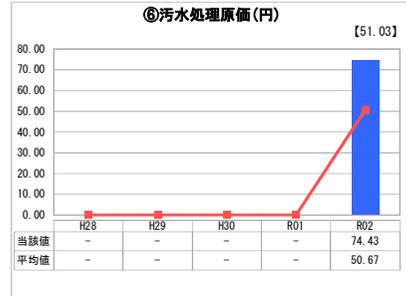
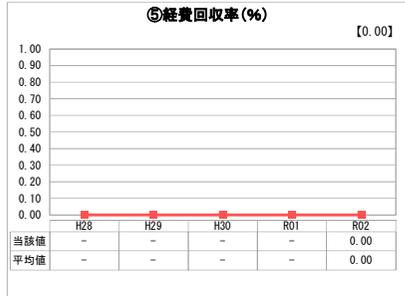
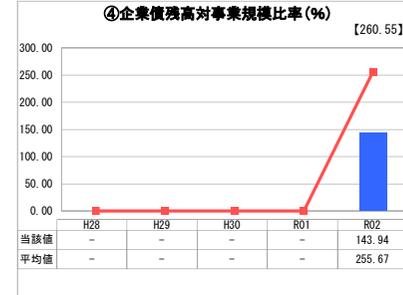
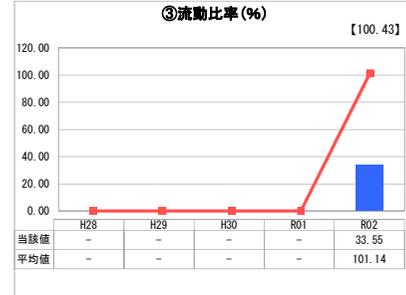
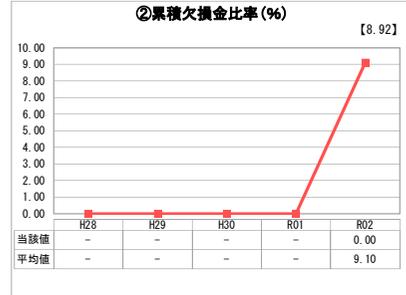
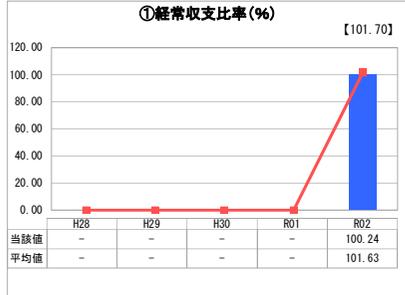
香川県

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	流域下水道	E1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	89.76	43.00	100.00	0

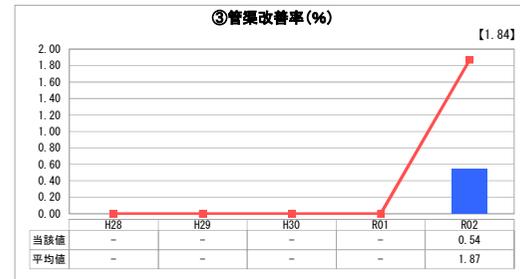
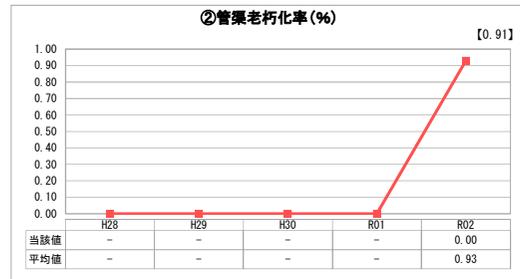
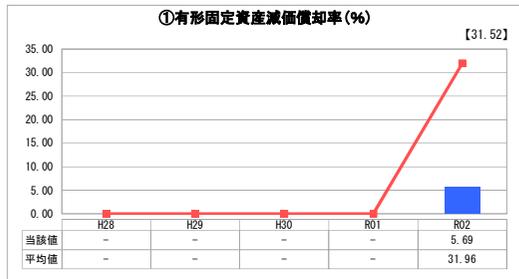
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
973,922	1,876.78	518.93
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
87,453	37.12	2,355.95

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[] 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析標

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率
100%を上回っているが、流域関連市町からの負担金収入が不足する部分を一般会計からの繰入金で補っているため、適切な負担金単価の設定と維持管理費の削減を行う必要がある。
- ② 累積欠損金比率
累積欠損金は発生していない。
- ③ 流動比率
流動負債の多くを占める企業債償還の財源を当年度に収入しているため、100%を下回っている。
- ④ 企業債残高対事業規模比率
類似団体の平均値を下回っており、今後もさらに減少する見込みである。
- ⑤ 経費回収率
使用料収入がないため、0%となっている。
- ⑥ 汚水処理原価
類似団体の平均値を上回っており、今後も同程度の水準で推移する見込みである。人口減少に伴う汚水量の減少に応じた適切な設備投資を行う。
- ⑦ 施設利用率
類似団体の平均値と同水準であり、適切な規模で施設を稼働している。今後も同程度の水準で推移する見込みである。
- ⑧ 水洗化率
流域下水道であるため、接続している市町の公共下水道の数値が反映されている。類似団体の平均値をやや下回っているため、今後も関連市町と連携して水洗化率の向上に取り組む。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率
令和2年度から地方公営企業法を適用したことから、減価償却累計額が少なく計上されており、類似団体の平均値を大きく下回っている。
- ② 管渠老朽化率
耐用年数を経過した管渠がないため、0%となっている。
- ③ 管渠改善率
比較的管渠が新しいため、類似団体の平均値を下回っている。管渠調査を実施し、必要な箇所について改善を行っている。

全体総括

令和2年度においては、概ね健全な経営を行っている。今後は、人口減少による処理水量の減少や施設の老朽化が進むことが予想されるため、持続可能な下水道事業の運営を行えるよう、ストックマネジメント計画や経営戦略に基づく適切な設備投資や維持管理業務の効率化に努めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。